

# 幼児の絵画製作の種類

— (2) —



副 島 ハ マ

## 砂 繪 (一・二圖)

砂繪は純然たる絵画とは云えないし、自由思想表現という点からの価値は少ないと思われ、ますが非常に面白い絵画製作の一つです。皆さま御存じと思いますが、子供に広い経験をさせるという立場から取り上げて下さるようにならうと思つて書きます。

砂繪は、何分にも材料が、砂と糊ですから取扱いに注意致しませんと前後の始末が大へんな事になつて了います。新聞紙を下にひいてからするとか、砂をちやんとした箱なり、罐なりに入れるとか、上手に御指導なさつて下さい。

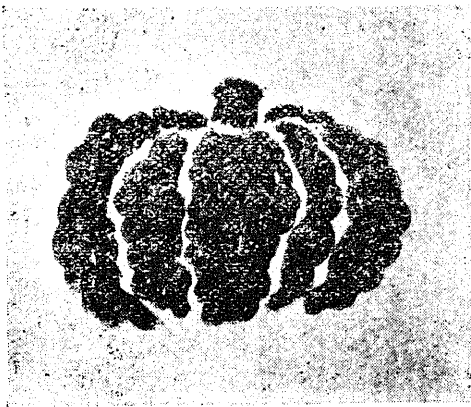
砂繪というのは、字の通り砂で絵をかくのですが、絵になつた砂を糊で固定しようとする訳なのです。ですから、地面の上に、手から砂をこぼしながら画くような絵とは違つて糊で絵をかいて、その跡を砂でハッキリさせるという具合になります。

描き方の順序を申しますと、先ず最初にクレヨン画をかく時と同じ要領で糊で絵を描きその上に砂をふりかけ、その上を不用の紙でそつとおさえ、充分おさえたら、紙につかなかつた砂を払い落すのです。砂を荒い砂と細かい砂に分けたり、タマゴの殻を細かく砕い

たものを使つたり、青ノリの粉を用いたりしますと、色に変化ができて、感じが變つてまいります。

例えば、山を背景とした野原に兎がいる景色の場合、遠い山と近い山は、細かい砂と荒い砂で使い分け、手前の野原は、押し菜をもんでつくつた粉、又は青ノリの粉などを用いて、兎をタマゴの殻を砕いた白い粉をふつてあらわすという具合に致します。糊づけの順序としては、充分乾かないうちに、横の方に糊をつける輪郭がくずれますから、野原だけ先

(第一圖)



(第二区)



糸迎と云う額を作るのに、この要領で字の所を小豆、地を大豆で糊づけして効果をあげた経験がございますが、砂絵の要領は、色々に応用できると思います。一つのヒントを活かして色々と新しい製作を考えて下さいませ。

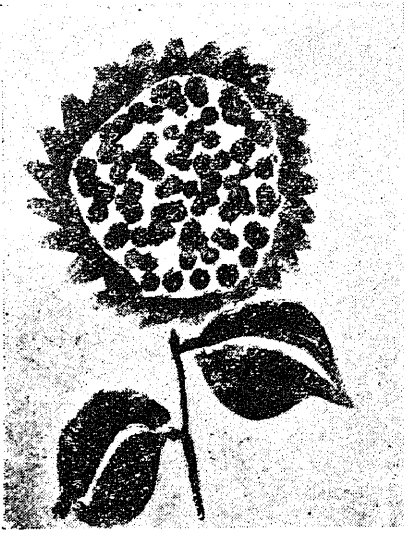
おがくず繪(三、四圖)

おがくず繪は、製作

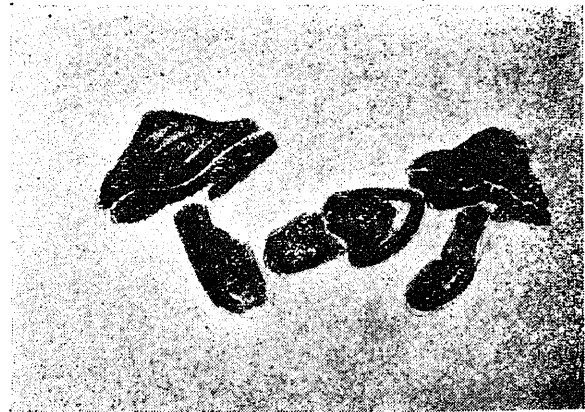
に糊をつけて緑の粉をふり、次には遠い山だけ糊をつけて細かい砂をふり、近い山を最後にするわけです。又、砂は糊をつけた所にだけしかつきませんから、糊のぬり残しのないように気をつけねばなりません。しかしこれを逆に利用して、陰影をつける工夫もできますが、幼児に、そのままでは要永するのは無理でしょう。

以前に何かの祝賀会るとき

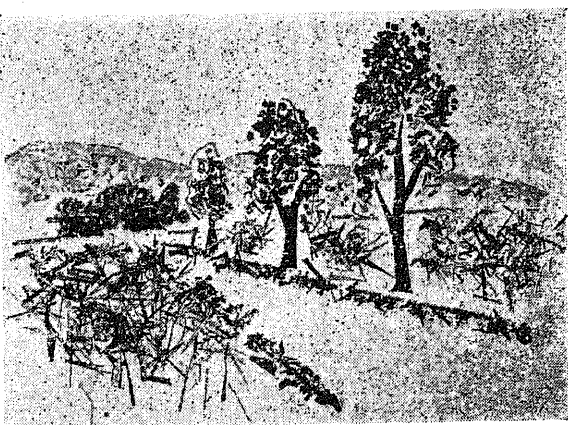
(第三区)



(第四区)



の材料を広範囲に求めたいという考えから、私の思いついた絵画と製作の中間的なものです。おがくず繪の描き方は、砂絵と全く同じです。描き方と云うよりはむしろ作り方と言う方が適当でしょう。これは、砂の代りにおがくず(製材の時出来る木の屑)を使うのですが、おがくずをそのまま、使うよりは、予め



直接染料で色づけして天日で乾して置いたものを用います。色の種類を多くして置きますと砂絵よりも随分複雑な工夫が出来て、出来上りも仲々面白いものです。

その場合、糊づけは、一色ずつ行い、ぬつた糊の上に、おがくすをふりかける時に、他の色のおがくすの上にかゝらぬよう、濡らぬよう気をつけなければなりません。糊づけし

たおがくすの上に他の色のおがくすがか、れば、とりのぞくことが出来ませんから、二色以上のおがくすを隣接するときには、先に糊づけしたおがくすの上に、紙を置くなりして注意します。又反対に、時には二色以上のおがくすを混ぜても面白くなります。出来上りは多色刷りの版画のような感じをうけます。

おがくす絵は、砂絵よりは後始末が楽なようですが、画法の技術は、少しむずかしいと思います。しかし、それは完全な出来上りを期待する場合の話であつて、幼児に、創作欲を起させ、創作をたのしむことが出来るのなら、たとえ、後始末が面倒でも、完全なものが出来なくても、充分製作の意義を果しているわけです。明るい子供の製作のために色々と考え、工夫なさつて下さい。

#### 切りはし應用貼り紙繪（五、六圖）

切り紙や爪切り貼り紙のときに出来る色紙の切れはしを、色に分けてためて置き、これを先生方のひまなときに細かく切つたものを材料として先にのべた、砂絵・おがくす絵と同じ要領で貼りつけるものです。即ち、台紙に糊をつけてから、細く切つた切れはしをのせて上から押えて後、台紙につかなかつた余分の紙を払い落すわけです。

切れはしを細かく切る場合も、表現する内

容に従つて非常に細かくしたり、荒く切つたりすれば色々と変化があつて面白いでしょうが、實際に、保育所、幼稚園で行わせる時には、そこまでは要求出来ません。しかし、大小不同、色々の形の紙切れがより乗る所に又面白味もあるわけです。色紙の裏と表に濃淡があり、これで新緑の立木などを表わすと、切り紙の平面的な感じと違つて、立体的な感じを与えます。

〔第六圖〕

